

令和4年度  
第1回堺市堺区政策会議  
議事概要

行政資料番号 1—C8—22—0238

## 令和4年度 第1回堺市堺区政策会議 議事概要

開催日時：令和4年11月7日（月）午後3時00分から午後4時30分

開催場所：堺市役所 高層館20階 第1特別会議室

出席者：紅谷座長、湯井職務代理者、大佐古構成員、川崎構成員、柴藤構成員  
田邊構成員、橋本構成員、水谷構成員、宮里構成員

欠席者：安田構成員

### 【議事要旨】

#### （1）令和3年度堺市堺区政策会議の振り返り

資料1「令和3年度堺市堺区政策会議のまとめ」をもとに、令和3年度堺市堺区政策会議の内容について確認を行った。

##### ○主な意見

令和3年度のまとめに要配慮者の支援が挙げられているが、障がい者対応の視点が欠けている。

#### （2）堺区における防災の取組について

資料2「堺区防災推進事業 ～区役所の「防災機能の強化」～」をもとに、令和4年度の堺区役所の防災の取組について意見交換を実施した。

##### ○主な意見

##### ■「将来の担い手育成」に関するご意見

- ・大学の自主防災組織の取組として、防災士資格を有した防災リーダーの育成や地域と合同の防災訓練を行っている。防災訓練は行うたびに改善点等気づくところがあるので、今後も見直し・工夫をしながら続けていきたいと考えている。
- ・浅香山校区では、大学生を中心に防災訓練の取組を実施しているが、若い人の中で引き継いでいこうとする意識の醸成やその枠組みをつくる必要があると思う。
- ・防災リーダーを学生から育成していることは、若い世代の参画という点において良い取組だと思う。今後も、大学や防災サポーター等と連携した防災訓練の取組を続けてほしい。
- ・女性が防災士になり、活躍しているという話を聞いている。これまで防災に関わりが少なかった人が防災に関心を持ち、担い手になってもらえるよう一緒に応援できればと思っている。
- ・3つの重点取組である「将来の担い手育成」「地域防災力の強化」「誰一人取り残さない防災体制の構築」に、若い人をどこまで取り込めるかが課題であると思う。防災訓練など、地域の役員だけに任せっきりではいけない。役員の負担軽減や防災活動への参画促進のためにも分担して回していくことが大切だと思う。

- ・小学校4年生に向けて防災授業を実施した。5人1組で地域の危険なところに気づかせるまち歩きを実施している。小学校の頃から防災意識を高めることにつながる良い取組だと考えている。
- ・子ども向けの防災学習として、小学校での出前授業を実施したり、避難所となる学校の体育館で小学生と一緒に泊まるなどの活動もしている。大切なのは、子どもが活動して学んだことを家で保護者に伝えていくことだと思う。
- ・今年、和歌山県（「和歌山市消防局防災学習センター」、「稲むらの火の館」、「新町地区津波避難タワー」）での防災をテーマにした研修に参加した。その研修においてVRで津波の様子を体験でき、非常に有意義だった。仮想ではあるが、リアルな体験をすることで人の防災意識は高まっていくと考える。是非堺区の若い人にも体験いただきたい。

### ■「地域防災力の強化」に関するご意見

- ・コロナ禍が3年目を迎え、リモート会議も充実してきたが、やはり対面で訓練などの取り組みを実施することが必要だと考えている。
- ・愛媛県松山市では、学校が避難所になることが多いため、学校の先生が防災士になっている。堺区としては、防災サポーターのその後のビジョンを描くようにしてほしい。また、防災サポーターについては、堺区だけでなく全市でネットワークをつくるのもいいのではないか。
- ・堺市では津波の際は、避難行動として東に逃げるのが推奨されているが、「避難後どうするか」を考える機会が必要である。
- ・避難行動について、学ぶ機会はあるが避難後の生活について、学ぶ機会は少ない。安全面で十分な配慮が必要だが、地震後の屋根の養生など、様々な知識を防災士が習得することで活動の幅も広がる。
- ・保護者向けのマップや防災お役立ちカード等の良い取組については、区単位だけでなく、全市、さらにはより広域に展開していくことが必要なのではないか。
- ・校区毎での防災訓練に対する温度差を感じている。活動に対する熱を上手く高めていきたい。
- ・自助公助だけでなく、それぞれの地域にある資源等（たとえば自治会等とつながりのある企業・大学・病院・店舗など）との連携を進めていくことが重要。

### ■「誰一人取り残さない防災体制の構築」に関するご意見

- ・外国の方への防災に関する啓発に苦慮している。防災お役立ちカードなどをどのように広めていくのか、その周知方法を今後の参考にさせてほしい。
- ・コロナ回復の兆しが見える。10月から全国的な旅行支援があり、大阪では「いらっしやいキャンペーン」や「堺たびキャンペーン」の影響で、週末は堺にかなりの往来がある。入国制限も緩和される中で、外国の方に向けて防災お役立ちカードは非常に活用できると思う。大きさも名刺サイズで持ち歩きしやすい。

- ・「無事ですカード」への提案として、無料だと大事にしてもらえないこともあるので、50円、100円でもいいので、有料にするといいのではないかと。まずは対象を独居高齢者の方に限るとのことだが、「災害時の要配慮者対策」とするならば、対象を障がい者などにも広げ、「お困りごとのある方」に対しての方策という考え方で組み立てていただきたい。また、「無事ですカード」は要配慮者だけに作るのではなく、地域住民全員で作成することで共生社会の実現をめざすことができると考える。
- ・企業の一斉帰宅抑制への啓発について、自分の会社では10キロ圏内に自宅がある職員は帰らせている。それ以上の距離の方を帰らせるかどうかの判断は難しい。建屋の耐震補強は行ってはいるものの、有事の際の従業員をどこに移動させるかのシミュレーションを行政とも連携しながらやっていきたい。
- ・夏場は体育館が暑いので、避難所を開設したとしてもみんな避難に行かない傾向にある。その点については、改善が必要だと思う。